



アートリンクとちぎ 2007 企画展 「川上澄生—アコガレの軌跡—」

現在、鹿沼市川上澄生美術館が所蔵する澄生のスケ

ッチ帖は、私たちにとって大変ありがたい存在である。なぜなら、そこから作品の制作過程が浮かび上がってくるからだ。どういう考えのもとで作品が作られていったのか、どこが削除もしくは追加されて完成となったのか。澄生が何に関心を寄せたのか。澄生世界を探る上での大きな手がかりとなっている。たとえば、本作「顔」は、スケッチをたどると、はじめは相手によって表情・態度を変える女性への不信感から生まれたことが分かっている。

しかし作品となると、恋慕心は不信感を越え、ただひたすらに恋する女性への讚美へと結実したのだ。彼にとっては彼女の顔だけが真実なのだと言はう。

さて閑話休題。実は澄生のスケッチ帖のなかに、旧馬頭町の風景（昭和4年3月31日付け）を描いたものがあるのですが、具体的にどこを描いたものか分かっていません。ここはどこなのでしょう？

ぜひ、ご意見を美術館までお寄せ下さい。

馬頭広重美術館（☎0287-92-1199）

スケッチ①



スケッチ② 馬頭の南町にあった火の見櫓？



※①、②いずれも

鹿沼市川上澄生美術館
所蔵 ©川上さやか

那珂川町
馬頭広重美術館
学芸員 津田 卓子

二人展

馬頭広重美術館が縁で知合った画家上鈴木正一さんと友の会会員の谷田部一郎さん。

同館ギャラリーで12月16日～23日まで開催された「二人展」の28作品の中から1点ずつご紹介いたします。

那珂川 谷田部一郎さん（大山上郷）



ミニ ギャラリー



親子 上鈴木正一さん（那須町）